

編集後記

今号は1991年4月～1992年3月まで開催された社会保障研究所のプロジェクト、「EC統合とECの社会政策」の成果を一部掲載いたします。これにあわせて、統合学派の泰斗、鴨武彦先生にEC統合に関する研究の窓をお願いいたしました。

現在欧州では、地域統合と地域分離の相反する流れが共存しています。周知のとおり、マーストリヒト条約にもとづいて欧州は通貨統合への道を歩んでいますが、その思惑は各国一様ではありません。さらに社会政策はもっとも統合の困難な政策課題とされています。他方で、ユーゴスラビア、チェコスロバキア、旧ソ連では地域分離が進行しており、ベルギーは2つの民族による連邦制を採用し、イギリス、スペイン、フランス、イタリアでも地域分離運動は活発におこなわれています。民族的動機とともに、経済格差の問題が起因していることはいうまでもありません。欧州全体での南北格差、東西格差の問題と同時に、国内での格差の問題を内包しているわけです。ECの動向はしばらく目を離せない存在です。この研究成果が皆様の研究の一助になれば幸いです。

なお、ここで掲載された論文はすべて、1992年6月、デンマークの国民投票でEC統合が拒絶された、いわゆるデンマーク・ショックの起こる前に執筆されていることを留意ください。この研究会の全成果は白表紙（内部資料 No. 9103）として公表されます。

(T)

編集委員長 宮澤健一（社会保障研究所長）

編集委員 稲上毅（法政大学教授）

貝塚啓明（東京大学教授）

郡司篤晃（東京大学教授）

小山路男（社会保障研究所顧問）

地主重美（駿河台大学教授）

袖井孝子（お茶の水女子大学教授）

田近栄治（一橋大学教授）

都村敦子（日本社会事業大学教授）

庭田範秋（慶応義塾大学教授）

橋本宏子（神奈川大学教授）

三浦文夫（日本社会事業大学教授）

宮島洋（東京大学教授）

堀勝洋（社会保障研究所研究部長）

三上芙美子（社会保障研究所調査部長）

編集幹事 織田輝哉（社会保障研究所研究員）

武智秀之（社会保障研究所研究員）

季刊

社会保障研究 Vol. 28, No. 2, Autumn 1992

(通巻117号)

平成4年9月25日 発行

定価 2,060 円 (本体 2,000 円)

編集・発行所

社会保障研究所

〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号

赤坂2丁目アネックスビル内

電話 (3589) 1381

製作・発売

財団法人 東京大学出版会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番1号

電話 (3811) 8814 振替東京 6-59964

印刷・製本 三美印刷株式会社